

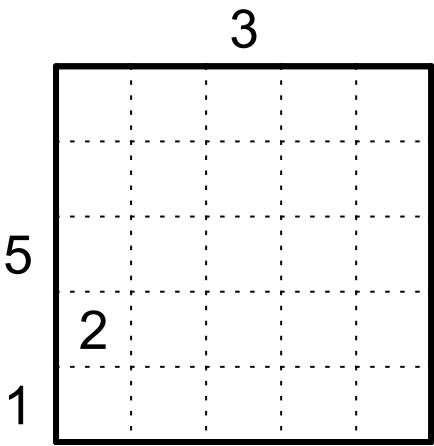
フィルオミノ+ビルディング

- ・ 数字の最大値は一行のマス数です。
- ・ 一行に同じ数字が何度入っても構いません。
- ・ 同じ数字が並んでいる場合は1つしか見えないものとします。

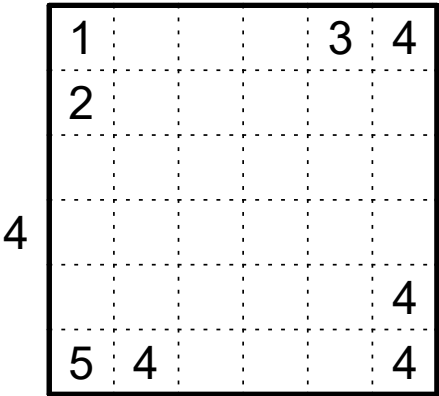
<ビルディングのルール>

1. マスに入る数字はそのマスにあるビルの高さを表します。
2. 盤面の外にある数字は、その方向から列を見たときに見えるビルを表します。高いビルの後ろにある低いビルは見えません。

① 作●トンボロ



② 作●トンボロ

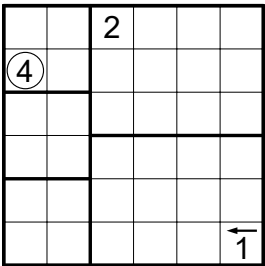


へやジリみさき

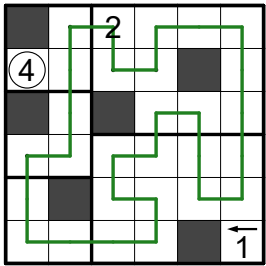
<ルール>

1. 盤面のいくつかのマスに線を引いて、全体で1つの輪っかを作しましょう。また、線が通らないマスは黒くぬり、黒マスにしましょう。
2. 矢印や丸の書かれているマスに線を引いたり、黒マスにしたりしてはいけません。
3. 線は、マスの中央を通るようにタテヨコに引きます。線を交差させたり、枝分かれさせたりしてはいけません。
4. 黒マスをタテヨコに連続させてはいけません。
5. 矢印も丸もついていない数字は、太線で囲まれた領域に入る黒マスの数を表しています。このような数字の入っていない領域には、いくつ黒マスが入るかわかりません。
6. 黒でないマスを、タテまたはヨコにまっすぐに2本以上の太線をわたって続けさせてはいけません。
7. 矢印付きの数字は、矢印の方向に入る黒マスの数を表しています。
8. 丸は、タテヨコに隣り合うマスのうち1つ以外がすべて黒マスになります。
9. 丸の中の数字は、丸のマスから黒マスでないマスがある方向に、黒マスもしくは盤面の端にぶつかるまで、丸のマスも含め何マスあるかを表しています。数字のない丸のマスでは、何マス連続するかわかりません。

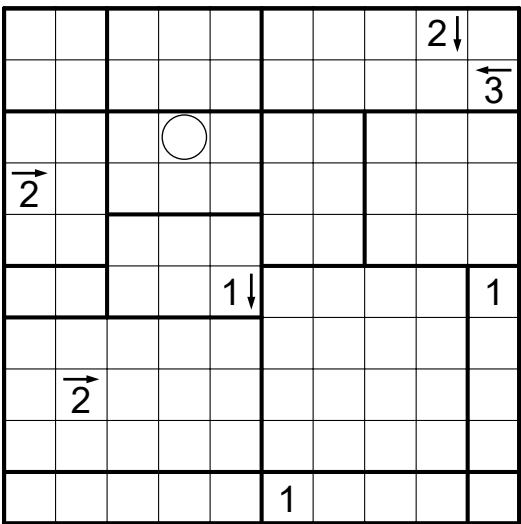
●例題●



●答え●



① 作●0 以上 1 以下の実数の集合



リンクワーズ

<ルール>

1. マスの中にリストの文字をすべて1回ずつ入れて、アルファベットが振られたマスのかたまりごとに意味のある言葉を作りましょう。
2. 単語同士は線や矢印などの記号で結ばれていて、それぞれの関係性が「カギ」で示されています。
3. 単語の意味は1つとは限りません。同音異義語として使用される場合があります。(アメ→雨、飴など)
4. 小さい「ッ」などは大きい「ツ」などと同じものとして扱います。

<特別ルール>リストについて

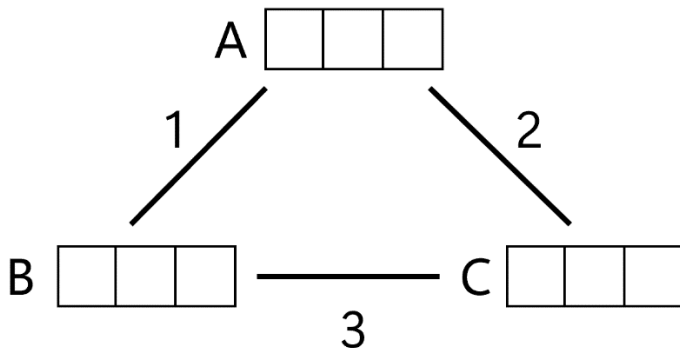
・カナは辞書順に並んでおり、長音は必ず最後に来ます。「ユ」「ッ」などの小さい文字も全て大きい文字「ユ」「ツ」として扱います。

ex ア イ ウ エ ... カ ガ キ ギ ... ハ バ パ ... ー

・リストの一部が隠されている場合があります。いずれも辞書順を満たしますが、「？」の場合は入る文字に制約がなく、「X」「Y」などのアルファベットの場合、同じ文字には同じカナが対応し、いずれも表出している文字とは異なります。

ex. ラ ? ? レ → 「ラ リ リ レ」「ラ リ ル レ」など
ラ X X レ → 「ラ リ リ レ」「ラ ル ル レ」のどちらか

① 作●燦



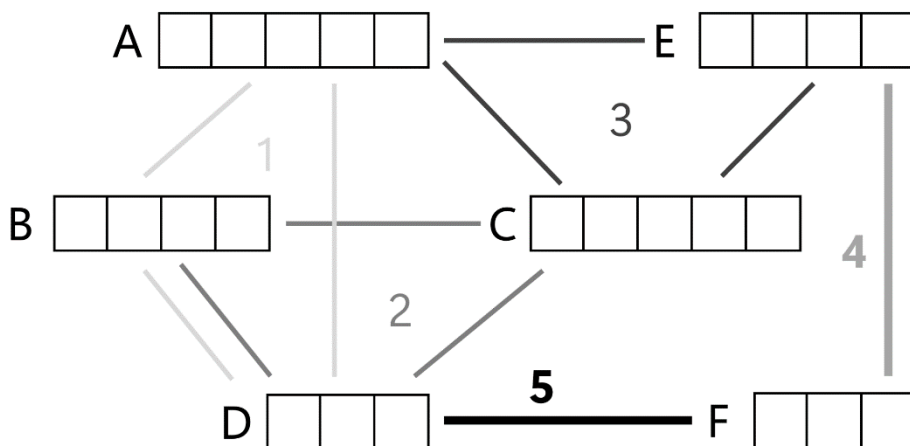
リスト

ウ ? ズ ? ? ? ? ? ー

カギ

- 1 Aを英訳するとB
- 2 AはCと鳴く
- 3 CはB どうしでする

② 作●燦



リスト

イ X X Y Y Y
ク グ ケ ス タ ト
Z Z ヤ ユ ラ リ ル
ン ー ー ー ー

カギ

- 1 AもBもDを使って行うスポーツ
- 2 CもDもBの用語で、対となる意味をもつ
- 3 CもEもAの用語で、EはCの3回分
- 4 EとFは、ある行事の日に食べられる

5 DとFの前に〈共通する三文字〉をつけると、どちらも〈共通する三文字〉を主原料とする英語の料理名になる